

第一回がん対策推進協議会がん研究専門委員会において指摘された現在の問題点

1. 基礎研究

- (1) 研究開始当初よりの知財コンサルタント体制の整備 (大津)
- (2) 研究の方向性、選択に基づく集中投資 (中西、間野、平岡、祖父江)
- (3) バイオバンクの整備 (直江、中西)
- (4) 大規模疫学調査支援体制の整備 (祖父江)
- (5) 放射線生物学の専門家および医学物理士の養成 (平岡)

2. TR, FIM

- (1) TRの推進 (中西)
- (2) FIM、早期臨床開発試験実施施設の設置 (大津)

3. 臨床研究

- (1) 臨床研究支援体制の整備 (大津、中西、直江、松原)
- (2) 臨床研究データの治験への活用 (大津、直江)
- (3) 臨床研究データを用いた適用拡大 (大津)
- (4) 各種研究にかかる指針の整備 (祖父江)
- (5) 癌登録の規格化・標準化 (中西、松原)

4. 診療・その他

- (1) 検診の奨励 (中西)
- (2) がんプロとがん診療連携拠点病院 (中西)
- (3) 地域連携クリニカルパス、ガイドライン作成 (松原)
- (4) 緩和ケア研修の推進 (中西)